

しののめ



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

センターからのお知らせ

「リーガルマインド養成研修」・・・・・・・・・・・・・・ 1

「総合教育センター研究発表会」・・・・・・・・・・・・・・ 2

教科教育部より（研修講座紹介）

中学校理科入門「物理」「地学」・・・・・・・・・・・・・・ 3

情報・産業教育部より（研修講座紹介）

「シーケンス制御学習指導法」・・・・・・・・・・・・・・ 4

「職業教育の現状、課題、展望」・・・・・・・・・・・・・・ 5

お知らせ「生徒研究発表会」・・・・・・・・・・・・・・ 5

センターからのお知らせ

★「リーガルマインド養成研修」

好評受付中!! お申し込みはお早めに!!

平成25年12月

3日(火)・4日(水)実施です!

締め切りは



くわしくは総合教育センターHPをご覧ください。

⇒お問い合わせは ☎(0263)53-8802 センター企画調査部まで

★「研修講座受講後のアンケート」を実施しました。

関係の先生方、ご協力ありがとうございました。

⇒センターHP「研修講座受講後アンケート 集計結果報告」をご覧ください。



平成 25 年度

長野県総合教育センター研究発表会

～学校の教育課題に対応する教員の指導力・組織力向上のために～

総合教育センターが取り組んでいる学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教職員の指導力向上を図ることを目的に開催します。

県内外の小・中・高・特別支援学校の教職員、教育関係機関等の職員の皆様、ぜひ、ご参加ください。

期 日：平成 26 年 2 月 21 日（金）

会 場：長野県総合教育センター

午前中は講堂で・・・

講 演 「対話」で深める授業の考え方と方法

～みんなで学び共に伸びる授業の実現を願って～

講 師 上杉 賢士 氏

（グリーンヒルズ小中学校長・前千葉大学大学院教育学研究科教授）

全体発表〈教職教育部〉

ヒューマンエラーを未然に防ぐ学校づくり

教員のスキルトレーニングと協働型の校内体制のあり方について提案します。

午後は分科会です。

《生徒指導・特別支援教育部》

- ・「人間関係づくり ちょっと！アイデア集」
- ・「授業のユニバーサルデザイン化に向けて」
- ・研修派遣教員発表

ほか

《教科教育部》

- ・「思考力・判断力・表現力等の『評価』を、こう進める」
- ・教科別ワークショップ
- ・「ICTで授業がどう変わるのか」

ほか

《情報・産業教育部》

- ・産業教育教材開発研究発表
- ・産業教育長期研修の発表
- ・産業教育事業報告会

ほか

ただ今参加受付中です!! (締め切り：平成 26 年 2 月 14 日)

くわしくは案内チラシ・センターHP をご覧のうえ、

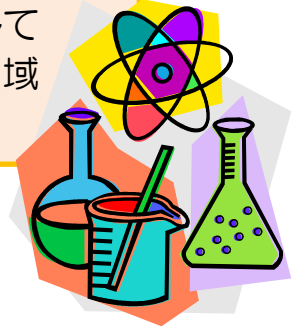
申込書をダウンロードし、郵送または FAX でお申込みください。

(電子申請でも受け付けています。)



理科教育研修講座 中学校理科入門

今年度の中学校理科の基礎講座は、「中学校理科入門」として物理、化学、生物、地学の領域別に開講しました。



「物理」平成 25年 10月 7日(月)実施

豆電球や手回し発電機を用いた実験や、電流計と電圧計のしくみを詳しく調べる実習をしました。

また、CST(コアサイエンスティーチャー)松本市立信明中学校・山岸展子先生の指導で、音速の測定や音階パイプの製作と実験、オシロスコープで音を見る実験をしました。

学校にある機材や身近な材料を使っていて、授業ですぐに活用できそうです。



手回し発電機の実験



金星の見え方モデルと 年周運動モデルの製作



前線モデルの実験

「地学」平成 25年 10月 10日(木)実施

マグマモデルを使った火成岩のつくりのちがいの実験や、サーモインクを使った前線モデル、金星の見え方モデルと年周運動モデルの製作と実験を中心に、20以上の教材を紹介しました。

地球や宇宙の現象は、実際に見ることができない場合がありますが、これらの教材を使えば理解を深めることができます。

100円ショップにあるものでこんなにも工夫ができ、インパクトのある教材が作れることに驚きました。



時間はかかるけれども、モデル提示の教材を自分で作ったり、教えこむだけじゃない地学の授業を目指したいと思いました。

産業教育研修「シーケンス制御学習指導法」

平成 25年 10月 18日(金)実施

シーケンス制御作業にかかわる
技能検定 3級課題の内容を理解
していただき、その指導法について
考えていただきました。また、参加
された方の技能向上や、今後の指導
のために、2級課題の内容にも触れ
ながら実習を行いました。

技能検定とは？

**「働く人々の有する技能
を一定の基準により検
定し、国として証明する
国家検定制度」** です。

受験に際しては、原則として
検定職種に関する実務経験が
必要ですが、3級であれば検定
職種に関する学科に在学する
生徒は受験が可能であるため、
長野県内の工業高校生も多く
受験をしています。



シーケンス制御とは、自動制御の一つです。「あらかじめ定められた順
序に従って、指示された各段階を逐次進めていく制御」のことをいいます。



技能検定におけるシーケンス制御作業の内容は、P L C
(Programmable Logic Controller：シーケンス制御専用のマイ
クロコンピュータを利用した制御装置)と技能検定用盤を配線し、
指示された仕様のよう動作をするプログラムを完成させるもの
です。

技能検定シーケンス制御作業3級課題を題材として、自動制御
やメカトロニクスに関する技術・技能を深めていきました。

研修講座担当者より

今回の研修講座には、シーケンス制御作業にはじめて取り組む
方や、授業や資格取得の指導のために参加された方など、様々な
技能の先生方が参加されました。それぞれに課題を持って実習に
取り組んでいただきました。実習内容を各学校で活用していただき、
成果報告をしていただければ幸いです。



産業教育研修「職業教育の現状、課題、展望」

～社会的・職業的自立を目指すために～

平成 25年 10月 3日(木)実施



千葉商科大学 商経学部教授 鹿嶋研之助 先生をお招きして、職業教育の現状と今後の課題を理解し、学校間連携等の実践を通じた職業教育の活性化について、理解を深めました。

- ◇今後の職業教育の課題として、他学科との交流と連携、小学校・中学校に対する職業教育のアピール、ドイツのデュアルシステムを参考にしたインターンシップでの就業方法などがあります。
- ◇地域産業において職業学科で学んだ人材が必要とされており、その期待に応えなければなりません。

受講者のアンケートより

- 地域の強み、学科の強みを活かした連携の方策を考えていきたいと思いました。
- 職業学科の学習は地域の将来を担う人材育成であることを改めて確認しました。



「生徒研究発表会」のご案内

“専門学科で学ぶ高校生” が学習成果を発表します!!



生徒研究発表会は・・・

- ⇒専門高校や総合学科で学ぶ高校生が集まって、学習の成果を発表する場です。
- ⇒ステージ発表や作品展示、販売実習を行います。
- ⇒農業や工業、商業、家庭、福祉などを学ぶ人たちが、どんな取組をしているか知る良い機会です。

どなたでも見学できます。

平成 25年 12月 14日(土)

会場:長野県総合教育センター 講堂

時間	9:15~	9:30~11:35	11:40~	12:15~13:15	13:15~15:15	~15:30
内容	開会式	ステージ発表・販売実習PR	昼食	展示・実演・販売	ステージ発表	閉会式

ぜひ、ご来場ください。

